

# としよかんだより

【下條村立図書館 129号 2017年7月15日発行】

開館から22年を迎えた7月7日(金)、読書手帳がスタートしました。自分の読んだ本、子どもに読んだ本の書名・著者名・評価(五つ星まで)等を記録することができます。どんな時にどんな本を読んだか、人生や子育ての節目に振り返り、親子で読書の楽しみを広げることができます。現在約170冊が発行されました。どなたでも、いつからでも…スタートできます!

## 詩吟っ子、図書館に集合!



6月18日(日)コスモホールにて「信州飯田岳風会 創立86年吟道大会」が開催され、南信地区全域から約500人以上の愛好者が下條村に集まりました。今回は、出番のあと図書館に来てくれた詩吟っ子たちの登場です。

昔から龍岳寺では子ども向けの詩吟の教室が開かれてきました(下條コスモス第1教場)。現在、この教場に通う子どもは12人。小学生から高校生までが、毎週月曜日の午後4時から約1時間、長年指導にあたる土屋広子先生(飯田市)のもとで教えを受けています。

また、数年前に発足した下條コスモス第2教場(北又公民館)には、2年生から4年生の子ども10名が通っています。指導に当たるのは、金田憲治村長より1年前にあとを引き継いだ齋藤俊二さん(大久保)。こちらは毎週水曜日の午後4時から5時まで。

「昔の人がつくった和歌や漢詩等に触れることで、昔の人と接触できることや、大きな声で歌う気持ちよさが詩吟の魅力です。発表では大勢の前で、礼儀作法や、言葉をはっきりと伝わるように声を腹から声を出すこと等が評価されます。子どもにとっては、日本語の勉強や社会勉強にもなるのでは」と齋藤さん。

今回、図書館に来てくれたのは、北又の第2教場に通う7人の小学生たち。4年生の飯嶋賢士(さとし)くん(北平)、金田梁汰くん(北又)、清水麻理恵さん(北又)、代田愛奈(あいな)さん(吉岡)、吉村優那(ゆな)さん(合上)の5人と、2年生の飯嶋あかりさん(原平)、金田ひなたさん(北又)の2人です。

いつも、図書館に顔を出してくれる子ばかりですが、今日は詩吟を発表するときのポーズで!?写真をパチリ。「詩吟は緊張する?」と聞くと「ぜんぜん緊張しない!」と平気な子どもたち。大勢の前で大きな声が出せて、気持ちがいいのかも…かもしれません!

### もくじ

1p: 詩吟っ子、図書館集合!

2p: 建設労連による修理

3p: 学習室利用のご案内

4p: 新刊ぴっくあっぷ

# 建設労連のみなさんが修理！

6月25日（日）村の建設労連のみなさんが、  
図書館からお願いした修理箇所3点…

① 棚 ② 丸テーブル ③ 外のベンチ

の修理に来てくださいました。

ささくれ立っていた丸テーブルはつるつるに、  
棚は本が出し入れしやすくなりました。

外のベンチは、新品同様のピッカピカになりました！  
これで、利用者の皆さんが安全に使うことができます。  
ボランティアでの作業、ありがとうございました！



新品に取りかえられたベンチの板

## セピア色の思い出

シリーズ・エッセイ《下條村に部校があった頃（昭和30年代の頃）》

戦後間もない頃に生まれた私は、日本が戦後から立ち直ろうと全国民が必死になって生きてきた頃に小学校中学校とを過ごしました。

まだまだ世の中は貧しく、今のように車があるわけではなし、道路は舗装はされていない、テレビ、洗濯機だってはじめは無かった時代でした。しかし、世の中みんなが貧しかった。貧しいことが当たり前、そんなにつらい思いをせずに生きてきた気がする。そんな時代を生きた思い出を、一つずつ振り返って綴ってみたいと思います。

【図書館長：串原良彦】

### （第1話）伊勢湾台風と小学校親田部校の廃校

伊勢湾台風は、昭和34年9月26日伊勢湾に上陸、名古屋地方に甚大な被害をもたらし、この伊那谷を直撃しました。当時私は小学校5年で親田部校は小学校4年で卒業なので、すでに本校5年生でした。

台風は、夜になって接近しその風雨は凄まじく本宅の屋根は半分くらい吹っ飛び、家中水浸し、猛烈な風で家が倒れんばかりとなって、家族全員布団を頭からかぶって、裏手にある倉に逃げ込みました。倉に逃げ込んでも、周囲の暴風雨の凄まじい音が絶えず聞こえてきて、ドドドーと地響きのような音も聞こえてきました。朝になりようやくようやく雨風が収まり、近くの親田八幡宮にいくと、人が5人で抱えるくらいのご神木が根こそぎ倒れて、本殿をつぶしてしまっていました。

この台風で親田分校も被害を受け、つかい棒をして10月まで授業をしましたが、11月から本校に統合され、長い歴史があった親田部校が無くなりました。

このときの親田部校の生徒数は、1年生26人、2年生20人、3年生38人4年生30人。小学校全体の児童数は783人でした。（今年の小学生は229人）

つづく

# 学習室ご利用のお知らせ

夏休み期間中（通常の土・日曜日等も）、会議室を学習室として開放しています。  
どうぞご利用ください。

○利用可能時間：図書館の開館時間 10:00～18:00

○休館日：月曜日 / 蔵書整理休館日（第4金曜日）ほか祝日休館

## 1) 本気で勉強したい方に

- ◇ 集中して学習したい方は、学習室を使うことができます。
- ◇ 図書館内は、大勢の図書館利用者が訪れるため、学習に集中できる環境がとれないことがあります。「本を借りたり読んだり、人と話したりしながら勉強」という方は、図書館内の机・いすをご利用ください。



## 2) 行事や会議のときは、使用不可

会議室で、イベントや会議などが行われる時間帯は利用できませんので、ご承知おきください。その場合には、教育委員会または図書館職員にご確認ください。

## 3) 学習室は飲食禁止

あしたむらんど内では、ロビーとブックカフェ、野外読書コーナーが飲食可能な場所となっています。図書館内、会議室、ギャラリーは飲食禁止となりますので、ご協力をお願いします。



### 学習室を利用する方へ

- ◆ 学習室を利用するとき、退室するときには、図書館カウンターの職員に、必ずお申し出ください。
- ◆ 学習室内で騒いだり、飲食をしないでください。
- ◆ 学習室内の電気、エアコン等を勝手に操作しないでください。
- ◆ 使用中は、必ずドアは開けたままにしてください。

### この夏の あしたむらんど・図書館 行事のお知らせ

- ◇ 7月17日（月）ロボット製作教室① 8:30～16:00
- ◇ 7月30日（日）けんだま教室（図書館おたのしみ会） 10:00～12:00
- ◇ 8月 9日（水）ペットボトルロケット製作教室 8:30～
- ◇ 8月12日（土）夏休み人形劇おたのしみ会 10:30～11:30  
上演：人形劇団ひぽぽたあむ「ふたりのお話」
- ◇ 8月19日（土）ロボット製作教室② 9:00～12:00

**当日と、それぞれ前日は、会議室を使用しますので、学習室使用はできません。**

# 新刊 ぴゅくあっぷ



「風のかたみ」葉室 麟著 朝日新聞出版／九州豊後・安見藩の女医である桑山伊都子は、目付方から、上意討ちとなった佐野家一族の女たちを“生かす”よう命ぜられ…。謎解きの興趣に満ちた清冽な長編時代小説。\*Fハ



「かがみの孤城」辻村深月著 ポプラ社／部屋に閉じこもっていたところの目の前で、鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先の世界には、似た境遇の7人が。秘めた願いを叶えるため、7人は城で隠された鍵を探すー。\*Fツ



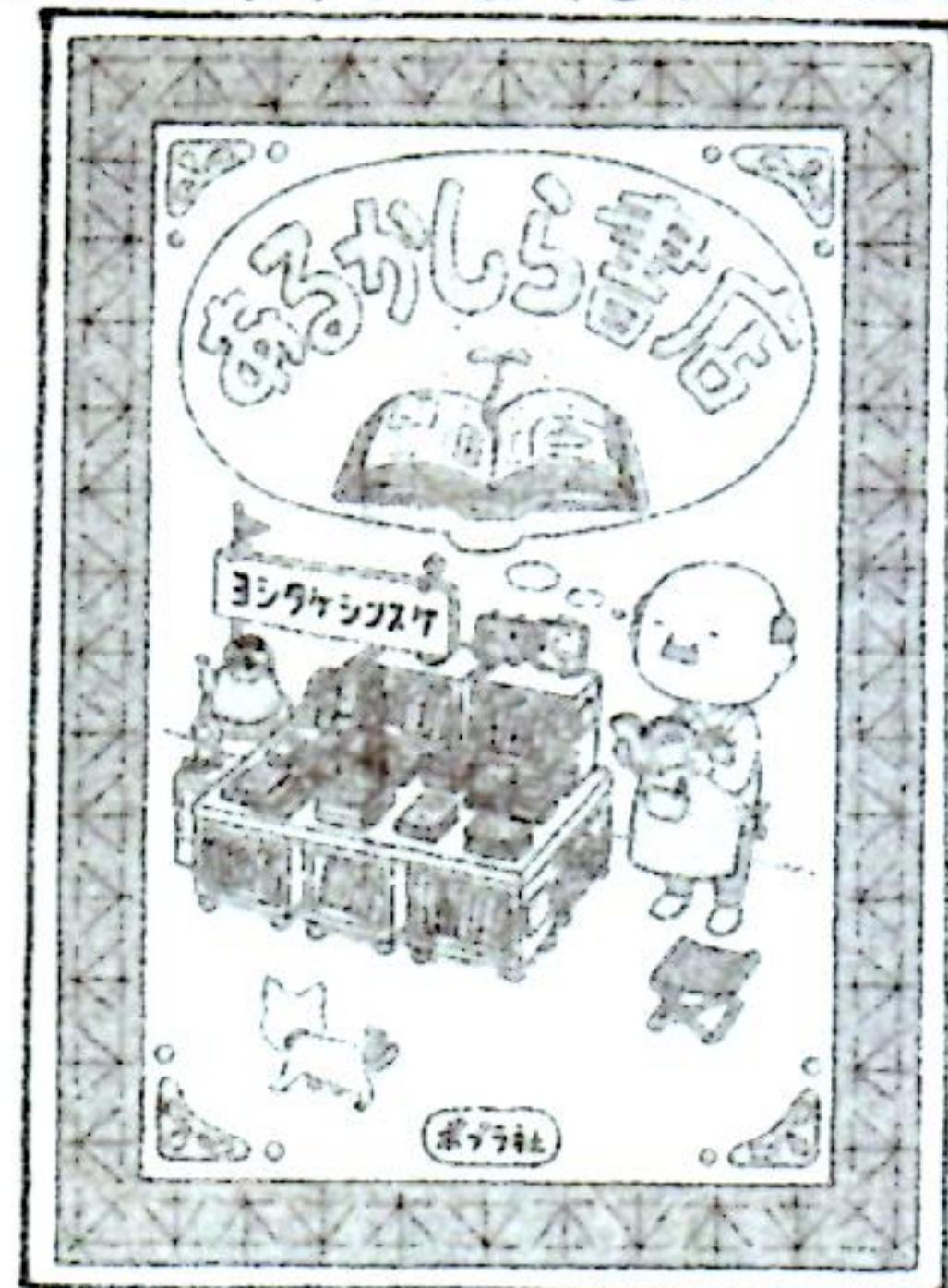
「劇場」又吉直樹 新潮社／一番会いたい人に会いに行く。こんな当たり前のことが、なんでできへんかったんやろな。かけがえのない大切な誰かを思う、切なくも胸にせまる恋愛小説。\*Fマ



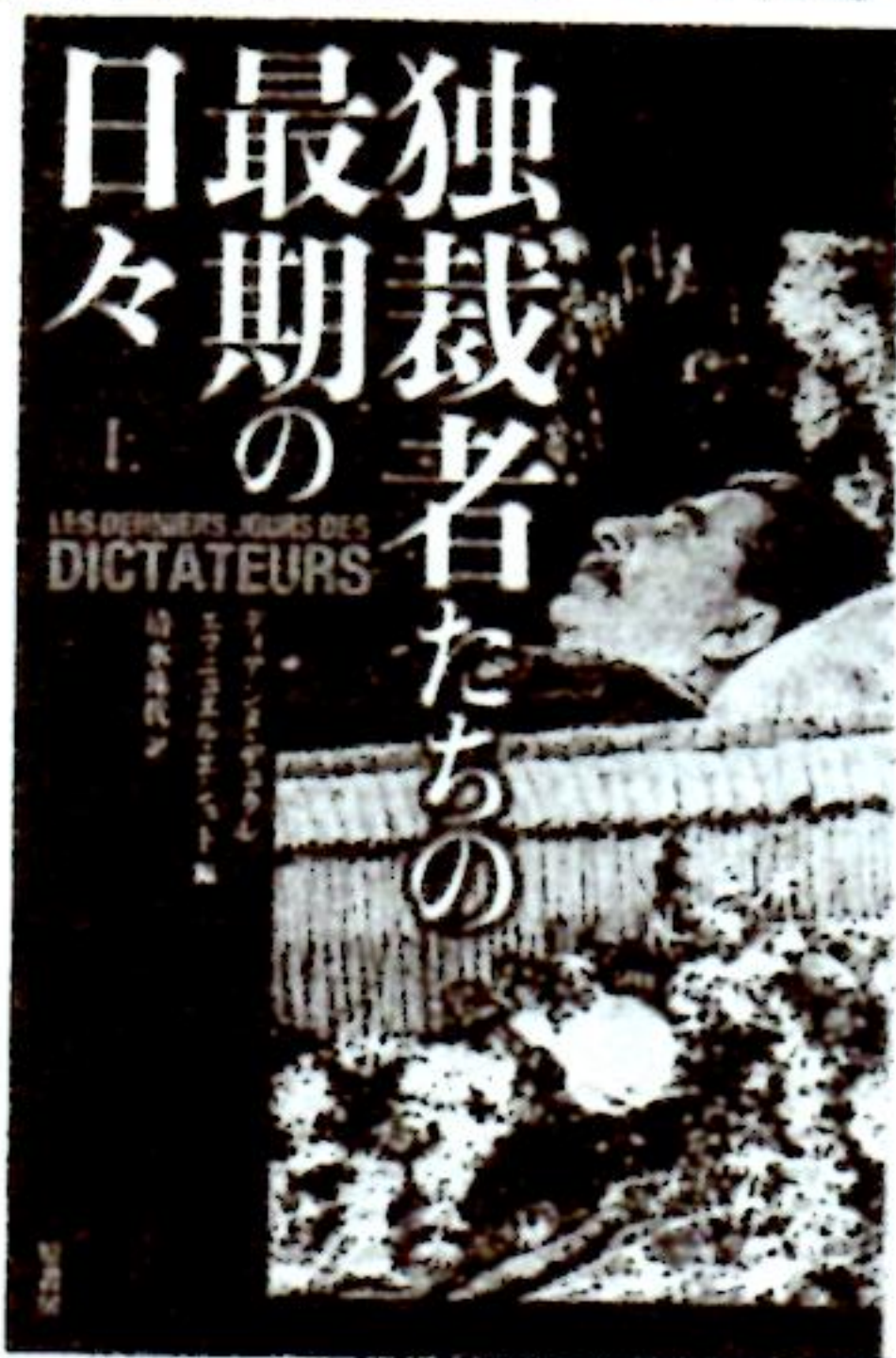
「下衆の極み」林真理子著 文藝春秋／トランプ、ゲス不倫、SMAP、都知事、そして母の介護…。大騒ぎの世の中を揺るがぬ視点で見つめ、鋭く切り込むエッセイ集。\*914ハ



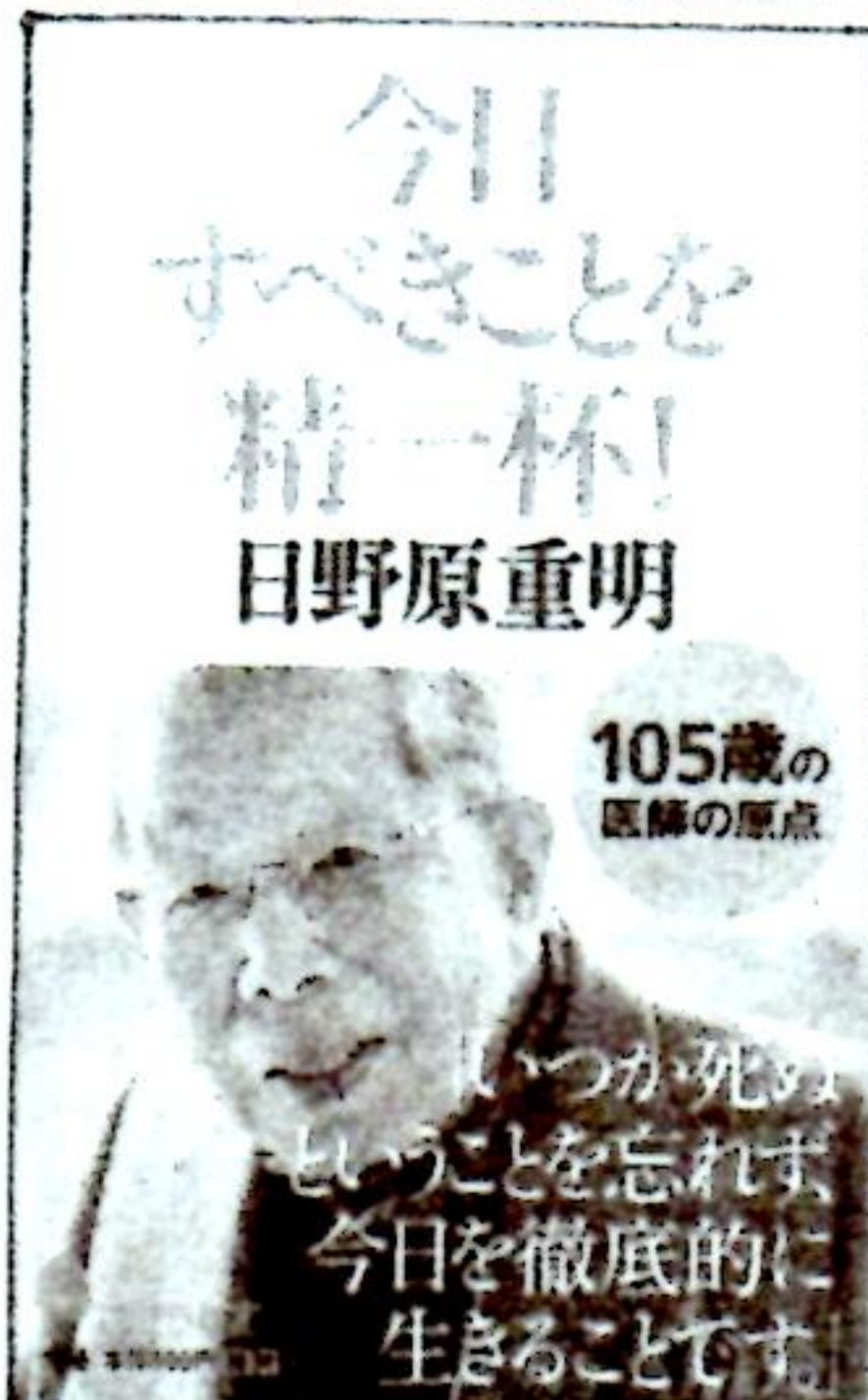
「七・七・七・五で唄う都々逸人生教室」柳家紫文著 海竜社／信州信濃の 新そばよりもあたしやあなたの そばがいい 七・七・七・五の言葉遊び、都々逸。花鳥風月から男女、恋愛、夫婦、人生まで、日常のあれこれを乙に洒脱に表している、たくさんの都々逸を紹介する。\*911ヤ



「あるかしら書店」ヨシタケシンスケ著 ポプラ社／「ちょっとヘンな本ってあるかしら？」「これなんてどうかしら!」「こんな本、あったらいいな」が詰まった、最高に楽しい妄想書店を、「りんごかもしれない」の絵本作家、ヨシタケシンスケが描きます。\*B933ル



「独裁者たちの最期の日々 上・下」デイヴ・デュクレ他編 原書房／世界に惨禍をまきおこした独裁者たちの最期の日に焦点をあて、信頼できる資料を基に史実を追いながら、今日の意味を問う。上巻は、ムソリーニ、ヒトラー、スターリン、毛沢東、ポルポトら12人を取り上げる。\*313ト



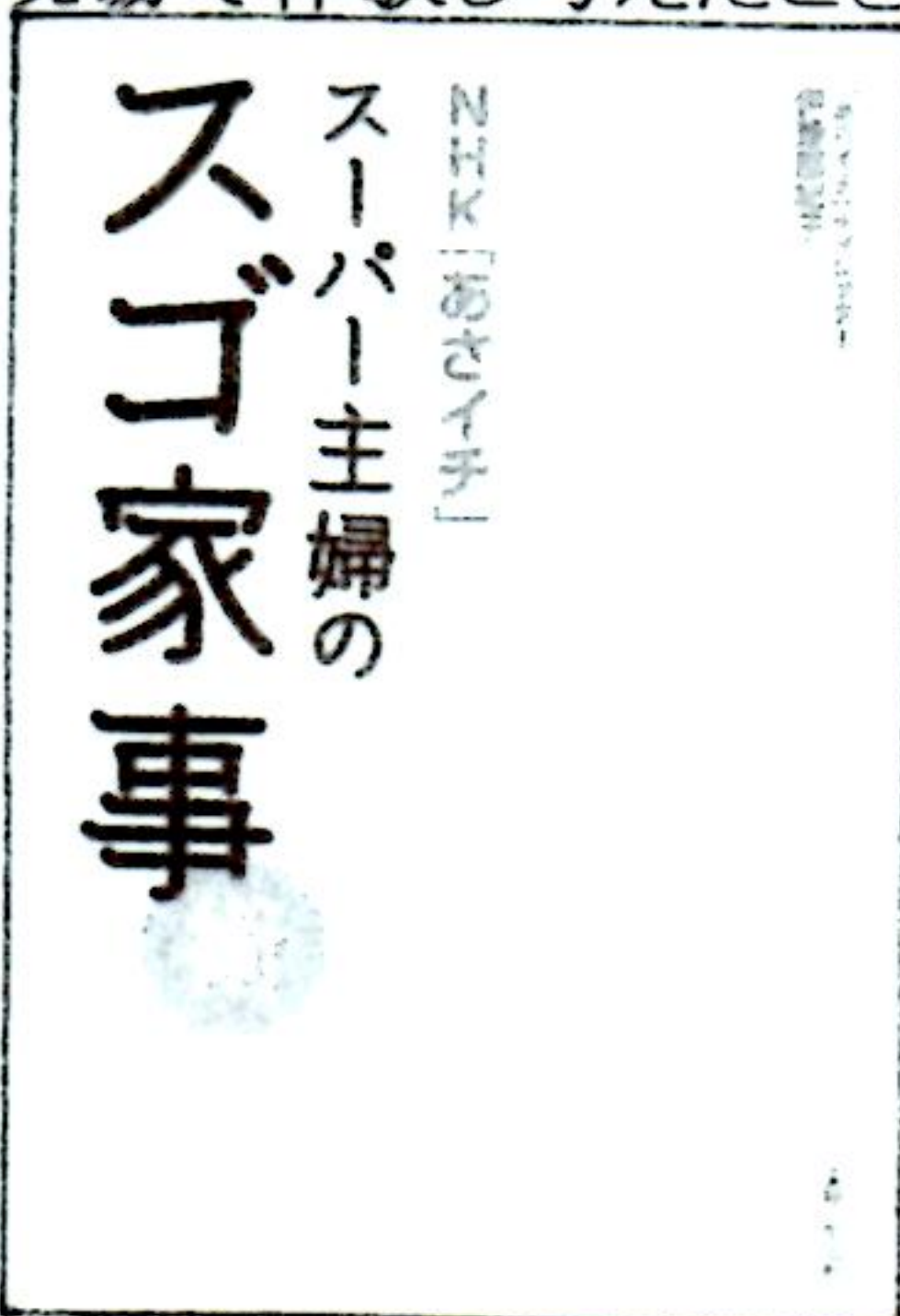
「今日すべきことを精一杯! 105歳の医師の原点」日野原重明著 ポプラ社／日野原重明が、日本の医療の場に身を置いていた78歳のときに「患者中心の医療とはどうあるべきか」について現場で体験し考えたことを綴った書。\*490ヒ



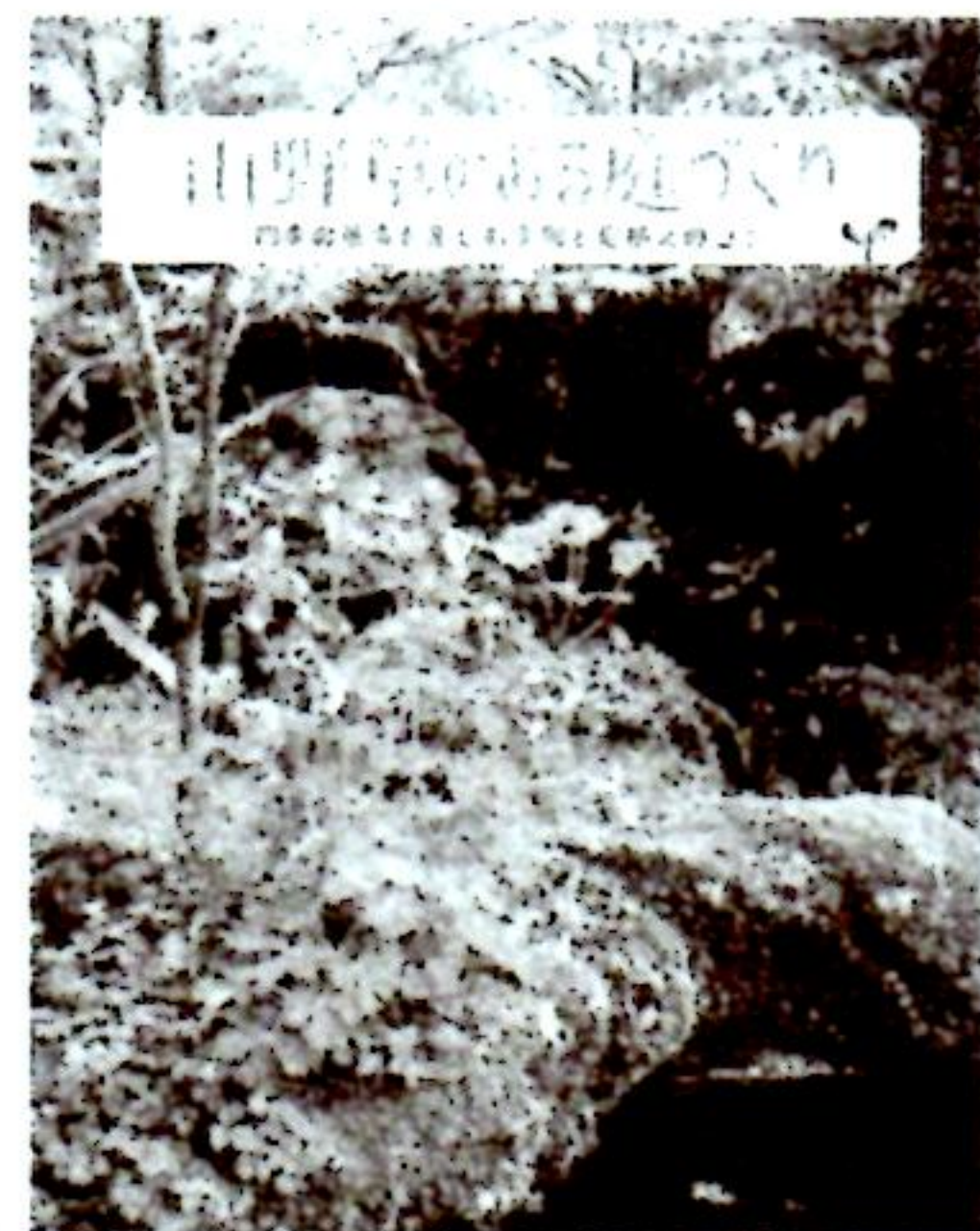
「電通の深層」大下英治著 イースト・プレス／日本の政官業すべてを支配する構造「一業種多社制」を有する巨大広告代理店「電通」。過労自殺、強制捜査、社長辞任…。電通問題の核心を突くドキュメント。マスコミ支配の実態を描いた1981年出版の「小説電通」も収録。\*674オ



「はじめてでもおいしく作れる魚料理 教えて!笠原さん」笠原将弘著 家の光協会／フライパンでパッと作れるから、忙しい人にこそおすすめ! ぶりの照り焼きやさばのみそ煮などの定番料理から焼き物、煮物、炒め物、揚げ物まで、毎日食べたいとおきの魚料理のレシピと、おいしく作る極意を伝授。\*596シ



「NHK『あさイチ』スーパー主婦のスゴ家事術」伊豫部紀子著 主婦と生活社／スーパー主婦とは、NHKのテレビ番組『あさイチ』が発掘した「家事の達人」の主婦たち。番組ディレクターが、スーパー主婦たちに教わった、人生を希望あるものに変えていく「家事の秘密」を伝える。\*590イ



「山野草のある庭づくり 四季の風情を楽しむ実例と庭植へのコツ」久志博信著 講談社／庭で育てることができるおすすめの実例と山野草を107項目で取り上げ、季節別に配列し439点の美しいカラー写真で紹介。山野草を庭で楽しんでいる実例や、失敗しない栽培のコツも収録する。\*627ヒ